

WEEKLY BULLETIN

OSAKA NAMBA

大阪難波ロータリークラブ週報



ロータリーは機会の扉を開く

(国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク)
2020-2021年度 国際ロータリーのテーマ
「ロータリーは機会の扉を開く」

(第2660地区ガバナー 簡 仁一)

今日の卓話

7月16日(木)

テーマ

「各委員会活動計画説明」

卓話者

クラブ組織・会員増強、会員選考、
職業分類、情報・規定、職業奉仕、
社会奉仕・SAAの各委員長

次回の卓話

7月30日(木)

テーマ

「各委員会活動計画説明」

卓話者

国際奉仕、国際交流三姉妹、米山奨
学会、ロータリー財団、クラブ戦略
計画・クラブ研修の各委員長

ロータリー4つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

第3回例会 本日のプログラム

開 会 (点鐘) 通算第2093回例会

- ・ロータリーソング 「それでこそロータリー」
- ・ソングリーダー 本間一成会員
- ・来客紹介 友好委員

会 食

- ・歌とピアノ 木下裕子
- ・会長報告 川口栄計会長
- ・幹事報告 福田 忠幹事
- ・委員会報告 各委員長
- ・出席報告 出席委員
- ・ニコニコ箱報告 SAA
- ・卓話

閉 会 (点鐘)

♪ それでこそロータリー

どこで会っても やあと言おうよ

見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ

遠い時には 手を振り合おうよ

それでこそ ローロー ロータリー

ニコニコ箱報告

前回の合計	¥50,000
本日までの累計	¥290,000 (87%達成)
7月末の予算額	¥330,000

出席報告

前回 7月9日	3週前 6月18日
会 員 総 数	58名
出 席 会 員 数	43名
出 席 率	82%
出席免除を除く MUを含む 修正出席率81.13%	

大阪難波ロータリークラブ

創立 1976年8月5日

会長：川口栄計

幹事：福田 忠

事務局 〒542-0076

大阪府中央区難波5-1-60

TEL 06-6632-3956

FAX 06-6632-3957

例会日時 毎週木曜日 12:30

例会場 スイスホテル南海大阪7階 芙蓉の間

会報・雑誌委員長：三島敏宏

事務局：安部亜希子

スイスホテル南海大阪5階

e-mail osaka-namba@poem.ocn.ne.jp

★来客紹介：三島友好委員

川口会長のゲスト 川井宗次様

★会長報告：川口会長

1. コロナ感染者数の報告がじわじわと増加傾向にある中、熊本県では大雨による河川の氾濫等により甚大な被害が出ております。心よりお見舞い申し上げますと共に、犠牲になられた人々のご冥福をお祈り申し上げます。

2. さて本日の「ロータリアンの足跡」は、先週お話ししておりました通り、福島喜三次についてであります。また端折ってお話いたします。彼は日本人初のロータリアンであります。米山梅吉だけでも福島喜三次だけでも、どちらが欠けても日本にロータリーはできなかったと思います。しかも貢献に於いては、その後の大阪RCの創設にも奔走され、私の感じるところ、日本のロータリー設立に関しては、福島喜三次の貢献のほうが大きいかと感じます。(生涯にわたる米山梅吉の三井報恩会の奉仕には遠く及びませんが。)

彼の経歴を見ればその有能な才能は明らかであり、この当時にロータリーの設立にかかわった先君は、誰をとっても語学が堪能で、異文化をスポンジのごとく寛容に吸い上げる技能を兼ね備えられていたのであろうと推察されます。米山梅吉が東京RC設立のメンバー選定にあたり「国家的な人物、国際的な視野を有する人物」すなわち英語を話せることも重要とされております。大阪RCのチャーターメンバーを見ても同じことが視えます。(私ももう少し英語を勉強したいと思います)

先週も少しお話ししましたが、東京RC設立の時の彼らの年齢は、米山52歳、福島39歳の時であります。福島喜三次が米山梅吉に東京RC設立準備の全権を一任したのは彼の有する人脈に期待するところが大きかったのではないかと推察されます。(いみじくも、現在、私共大阪難波ロータリークラブに於きまして、RACの設立準備委員会が発足しております。当時の彼らの活躍、積極性を模範とし、素晴らしい大阪難波ロータリークラブができますことを夢に見るところであります。なぜなら今期の地区ロータリークラブ委員が西原会長エレクトであり、青少年奉仕委員長が林会員であります。彼らは、ともに50才代であります。)

★幹事報告：福田幹事

1. 本日の週報に持ち回り理事会と定例理事会の議事録を掲載しておりますのでご確認ください。
2. 7月30日例会終了後、臨時総会を行いますので、少しお残り下さい。
3. 本日週報と一緒に年間スケジュールを入れさせて頂いておりますのでご確認ください。
4. 来週7月16日の例会は7Fで行いますので、よろしく願いいたします。

★委員会報告：ありません。

★ニコニコ箱報告：森田副SAA

川口栄計：コロナウイルスで大変な時に、熊本県、大分県、岐阜県での水害被害、心からお見舞い申し上げますと共に復興を祈念します。亡くなられた人々のご冥福をお祈りします。

福田 忠：この度の大雨災害でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り致しますと共に、被災者の皆様にお見舞い申し上げます。河川の氾濫は60河川、9県に及ぶとの事です。私たちに何ができるか考えたいと思います。

北橋茂登志：直前会長幹事、現会長幹事に感謝と応援を常に心掛けています。

網干康史：欠席お詫び。本年も宜しくお願い致します。

上杉竜太郎：記念バッジ贈呈式忘れ、お詫びとして。西野直前会長、立花直前幹事、誠に申し訳ございませんでした。

右田竹郎：前西野会長、前立花幹事、一期お世話になりました。

右田竹郎：病欠にて長らくお休み頂き失礼いたしました。

右田竹郎：川口会長、福田幹事、今期一年よろしく願いいたします。

中川博之：前回例会欠席お詫び。改めて川口会長、福田幹事、今期一年よろしく願いいたします。

★卓話

テーマ「委員会活動計画」
司 会：夏 明義 副会長

夏 明義 副会長

各委員会活動計画説明の前に、そもそもロータリークラブについて。本来ロータリークラブは「I serve・私が奉仕をする」です。その奉仕をする人々がロータリアンであり、その同じ奉仕理念を持った人々が集まったのがロータリークラブとなります。それでは、奉仕理念とは何かと言うと、「He profits most who serves the best・最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる。」とアーサー・シェルドンさんによってとねえられました。ちなみにこの理念は、ロータリークラブが設立される前の1902年にシェルドンスクールにて既に提唱されていたモットーなのですが、その後ロータリークラブでも公式な奉仕理念として提唱されました。日本語で置き換えると、「情けは人の為ならず」です。よくよく考えてみると、人の為と書くと「偽・(ニセ)」となります。人の為にやっているようで結局自分の為になっていることを伝えている。つまり、一生懸命人の為に頑張っていると、回りまわって自分の為になり、自身の会社・家族・一族が繁栄することになる。この考え方が奉仕理念となり、実践の倫理であり、ロータリアンの心得となります。そもそものロータリークラブの考え方・理念としてお伝えしておきます。それでは各委員会活動計画発表願います。



出席・プログラム委員会：赤坂 宏委員長

(出席関係) 例会出席は、ロータリー活動をする上で最

も重要且つ基本的なルールとなっています。その背景には、会員同士が親交を深め奉仕を語り合い、そして自らの研鑽をする場であると考えます。本来ならばホームクラブ出席率100%が理想ですが会員皆様の事情もあり中々難しいと思われまのでメイクアップを含む修正出席率100%に近づけるよう進めてまいります。しかしコロナの影響により国際ロータリー理事会が「コロナウイルスへの対応・一般原則」を採択し、4月のRI理事会で4つの一般原則を採択されたことにより、行事の全参加者の健康と安全が最優先とし、ウィルス流行のため直接顔を合わせる会合など出席が義務付けられないとなっており、従来の出席の概念も少し変わってきております。今年度は皆出席、ミスターナンバ等の表彰は行わず、又、今後の対策としてオンライン例会など感染対策を考えた例会等模索してまいりますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。(プログラム関係)例年通り RI 月刊テーマに基づき担当委員会の皆様にご協力を賜りながら進めてまいります。卓話は、入会の浅い方にとっては自分のアピール、修練の場であるとも考えますし、逆に経験豊富な入会歴の長い諸先輩方の卓話を聞くことは入会の浅い方は当然のことながらクラブ全体にとっても大変有意義なものになると考えます。入会歴関係なく会員皆様にとって、するの聞くのもほんの少しでも有益なものとなりますので、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。私自身、身が引き締まる思いで頑張ります、どうぞよろしくお願い致します。



クラブ会報・雑誌委員会：三島敏宏委員長

<クラブ会報>

コロナウイルスの影響のもと、例会出席できない会員さんもいらっしゃると思存します。卓話内容や様々な活動を分かり易く知っていただくために写真を多く登用し魅力ある週報を目指します。また、ゲストの方にも週報を通じて歴史と活気がある大阪難波ロータリークラブをお伝えできればと思います。

企画としましては、今年度、川口会長のスローガンは、「世代を紡ぎ、親睦と奉仕を未来へ」です。クラブ会報委員会としてできることとして、世代を紡ぐために各会員の人となりをご紹介させていただきたいと思存します。具体的には、会員それぞれの人となりを表すインタビュー記事の紹介をさせていただきます。3つのテーマ(私と難波ロータリークラブ・普段の私・私の好きなこと)から1つを選択して頂きまして、私たち委員会がヒアリングをおこない200~300文字の記事を作成し週報にてご紹介いたします。詳細は来週の週報に私の記事とともにご説明いたします。ご多忙と存じますがご協力の程何卒よろしくお願い致します。

<雑誌>同じくコロナウイルス影響下のもと、「ロータリーの友」の役割は大きいと思われま。月に一度の紹介では、熟読をして皆様に簡潔にお伝えできればと思います。入会年度の浅い会員の皆様にもロータリーの理念や活動内容をより知っていただくために、交代制で記事のご紹介をさせていただきたいと思存します。その際にはご協力の程よろしくお願い致します。

友好委員会：森 圭司委員長

今年度の友好委員会の活動計画と致しましては、コロナの影響のもと、会員の皆様とご家族が、安全でかつ楽しんで頂ける友好行事を行っていきたくて考えております。会員の皆様、ご家族が大阪難波ロータリークラブの友好行



事に参加して良かった、楽しかったなと思って頂き、皆様方の友好に繋がっていただけるように、努めます。また、川口会長、福田幹事のもと、各委員の方々にもご協力頂き連携をし、毎年の行事で継承していくべき行事は継承し、今期のカラーを取り入れるものは、積極的に取り入れていければと思存しております。新型コロナ対策と致しまして、例会においては○受付時に、非接触型体温計による体温測定の実施、手指の消毒○ビジター参加の方はメイクアップカード以外に、連絡先電話番号とご住所を別紙にご記入頂くとして、友好行事におきましては、3密を避けた形での宴席、できるだけ屋外での行事などを心がけていきたいと思存します。宜しくお願い致します。

今期の友好行事予定

7月前会長、幹事慰労会 8月琵琶湖家族会
9月新入会員歓迎会 9月第一回友好ゴルフコンペ
10月秋の紅葉会 11月グルメ会
12月クリスマス会 3月マラソン大会&グルメ会
4月第二回友好ゴルフコンペ 6月打上げ家族会

広報・ホームページ委員会：中川博之委員長

①. クラブ内外への効果的な広報活動について、基本的には前年度を踏襲して実行して参ります。具体的には、SNSを積極利用します。ホームページを活用し対外的に難波ロータリークラブの活動内容を発信します。



②. 会員増強や知名度アップの為、三姉妹交流による国際奉仕事業や、献血などの社会奉仕事業の他、野球同好会、和太鼓部などのクラブ同好会活動、またクリスマス家族会などの友好行事も積極的に発信したいと思存します。その際写真・動画撮影にご協力のほど、よろしくお願い致します。今期のスローガン「世代を紡ぎ、親睦と奉仕を未来へ」ということですが、先輩が築き上げられた伝統ある大阪難波ロータリークラブの魅力をインターネットという新しいテクノロジーを最大限に活用し未来を担う若い世代の皆さんに、我々の活動を伝えられたらと思存しますのでよろしくお願い致します。

青少年奉仕委員会

大阪難波 RAC 設立準備委員会：林 博之委員長

<青少年奉仕委員会>

2点のご案内からさせていただきます。

①10月17日(土)18日(日)に開催される道頓堀リバーフェスティバルでのキッズダンスへの参加をお願いします。②今秋は中止となりましたが、来春のRYLAへのご参加をお願いします。

<RAC設立準備委員会>

今期中に会員を募り設立を行いたいと思存します。まずもってRAC(ローターアクト)の概要としては、入会資格18歳~30歳の会員のご子息・若手経営者・会員各社の従業員幹部候補生です。開催は月2回で、会費500円~2500円とし当日のお弁当等の支出として運営します。活動基本は4つあり、①クラブ奉仕②社会奉仕③国際奉仕④専門知識開発委員(各々の専門分野より講義の受講)です。RACの意義としましては、人との出会い・親睦・自己成長・達成感を感じてもらうことにより、RAC会員にその経験をもとに各々の環境で活躍してもらうことを目的とします。皆さんご協力をお願いします。



7月 結婚記念日 おめでとうございます



7月 5日 米澤 勉会員ご夫妻
7月 8日 松浦孝尚会員ご夫妻

7月 7日 荒山義雄会員ご夫妻



谷口 勉会員
大阪難波ロータリークラブの
チャーターメンバーであります。
毎年6月、虫歯予防デーの四
天王寺悲田院への慰問など、
88歳という年齢で、今もお現
役の歯科医師として活躍して
おられます。



千田 忠司会員
大阪市商店会総連盟理事
長、大阪活性化事業実行
委員会の代表理事など、ミ
ナミを中心とした地域の活
性化に取り組んでおられま
す。



会長・幹事の
会員職場訪問



西野直前会長、立花直
前幹事に記念バッジが
贈られました。また、西
野直前会長、立花直前
幹事から川口会長、福
田幹事へ現会長幹事
のバッジが贈られまし
た。



《クラブ会報・雑誌委員会より》

今年度のスローガンは、「世代を紡ぎ、親睦と奉仕を未来へ」です。クラブ会報委員会として世代を紡ぎ親睦を行うためにも、各会員の人となりのご紹介をすべく掲載企画「世代を紡ぐインタビュー」を今回よりスタートさせていただきます。企画内容としましては、各会員に3つのテーマより1つを選択していただきインタビュー記事とそれに関係するお写真を掲載させていただきます。

テーマ ①私と大阪難波ロータリークラブ ②普段の私 ③私の好きなこと など「人となり」をお伝えできれば何でも構いません！

順番はABC順にて行います。もちろんインタビューと原稿作成はクラブ会報委員にて行います。掲載時期は事前に申し上げますので、皆様ご協力を何卒宜しくお願いします。僭越ながら、初回は例をかねましてクラブ会報委員の三島の記事を掲載させていただきます。恐縮ですがご参照願います。

三島敏宏会員



事情があつてダイエットしました。昨年12月より約2か月で11kg減量しました。その理由は、私の友人2人です。一人は仕事中にろれつが回らなくなり軽度の脳梗塞を発症しました。もう一人は信号待ちで急に視界が狭くなりそのまま倒れたそうです。狭心症です。

二人とも今は、元気にピンピンしています。が、当時は血液の数値が悪かったそうです。他人事でないと思い6日間の断食を行いました。お陰様で減量はできましたが、低血糖でフラフラしました。極端なことはダメと認識しました。

Vol.
1

「テーマ② 普段の私」



世代を紡ぐ
インタビュー

来週7月23日(祝・木)は休会で、次回例会は7月30日(木)です。

これからの予定

7月23日 (祝・木) 休会

7月30日 (木) 例会・臨時総会

8月 6日 (木) 例会・定例理事会

8月13日 (木) 休会

8月20日 (木) 例会

ロータリアンの足跡 vol.3
松下幸之助 大阪ロータリークラブ

生い立ち

1894年11月27日、和歌山県海草郡和佐村千旦ノ木（現：和歌山市禰宜）に、小地主松下政楠・とく枝の三男として出生。家が松の大樹の下にあったところから松下の姓を用いたとする。

1899年頃、父が米相場で失敗して破産したため、一家で和歌山市本町1丁目に転居し、下駄屋を始めた。しかし父には商才がなく店を畳んだ。幸之助は尋常小学校を4年で中退し、9歳で宮田火鉢店に丁稚奉公に出される。後、奉公先を五代自転車に移した。この経験は後にパナレーサー社設立のきっかけになった。自転車屋奉公時代、来店客に度々タバコを買いに行かされた。その際、いちいち買いに出かけるより纏め買いして置けば、すぐタバコを出せる上、単価も安くなるため、これを利用して小銭を溜めた。しかしこれが丁稚仲間から反感を買い、店主にやめるよう勧められたために纏め買いはやめる。この頃から商才を顕すと共に、独り勝ちは良くないとも気づくようになった。

大阪市に導入された路面電車を見て感動し、電気に関わる仕事を志し、16歳で大阪電灯（現：関西電力）に入社し、7年間勤務する。

当時の電球は自宅に直接電線を引く方式で、電球の取り外しも専門知識が必要な危険な作業であったため、簡単に電球を取り外すことができる電球ソケットを在職中に考案する。1913年に18歳で関西商工学校夜間部予科に入学した。1917年、大阪電灯を依願退職した。



松下幸之助 RC バッジ

会社創業

天阪府東成郡鶴橋町猪飼野（現：大阪市東成区玉津2丁目）の自宅で、妻むめのと、その弟の井植歳男（営業担当、後に専務取締役、戦後に三洋電機を創業して独立）、および友人2名の計5人で、同ソケットの製造販売に着手。しかし、新型ソケットの売り上げは芳しくなく、友人2名は幸之助のもとを去ったが、川北電気（現在のパナソニックエコシステムズ）から扇風機の部品を大量に受注したことにより窮地を脱した。その後、アタッチメントプラグ、二灯用差込みプラグがヒットしたため経営が軌道に乗る。

事業拡大に伴い、1918年に大阪市北区西野田大開町（現：大阪市福島区大開2丁目）で松下電気器具製作所（現：パナソニック）を創業。電球ソケットに続き、カンテラ式で取り外し可能な自転車用電池ランプ（1925年から「ナショナル」商標を使用開始）を考案し、これらのヒットで乾電池などにも手を広げた。1929年の松下電器製作所への改称と同時に『綱領・信条』を設定した。

門真移転

1932年に『命知元年』と定めて5月5日に第1回創業記念式を開き、ヘンリー・フォードに倣った『水道哲学』『250年計画』『適正利益・現金正価』を社員に訓示した。また、事業拡大のため土地が広い門真市に本社・工場を移転した。当時、門真市から枚方市にかけての地域は大阪市内から見て鬼門に当たるとして開発が遅れていたが、東北に細長く延びる日本地図を指して「日本列島はほとんどが鬼門だ」と述べて断行した。1935年には松下電器産業株式会社として法人化した。

第二次世界大戦中は、下命で軍需品の生産に協力する。1943年4月に松下造船株式会社を設立し、海運会社出身の井植歳男社長の下で、終戦までに56隻の250トンクラスの中型木造船を建造した。次いで同年10月には盾津飛行場そばに松下航空機株式会社を設立し、空技廠の技術指導により強化合板構造の練習用木製急降下爆撃機「明星」を終戦までに7機試作。試験飛行に漕ぎ着けたものの、1機は間もなく空中分解し、航空機に求められる絶対的な品質と信頼性に対する認識不足から惨憺たる失敗に終わった。

戦後ただちにGHQによって制限会社に指定され、幸之助・歳男以下役員の多くが戦争協力者として公職追放処分を受ける。暖簾分けの形で井植兄弟を社外に出した幸之助は、「松下は一代で築き上げたもので、買収などで大きくなった訳でもなく、財閥にも当らない」と反駁した。一方で1946年11月にはPHP研究所を設立し、倫理教育に乗り出すことで世評を高めた。内部留保を取り崩して人員整理を極力避けたことを感謝した労働組合もGHQに嘆願したため、間もなく制限会社指定を解除され、1947年に社長に復帰する。

社長復帰後

続くドッジ・ライン不況でも苦境に陥ったが、今度は一転してレッドパージを兼ねた直営工場の操業時間短縮、人員大量整理、賃金抑制を断行し、危機を乗り切った。この経営手法を当時のマスコミが揶揄して物品税の滞納王などと報道された。

1948年、趣味の株式投資の影響でナショナル証券を設立したが、この分野で大成するには至らなかった。

1950年以降、長者番付で10回全国1位を記録（1955年 - 1959年、1961年 - 1963年、1968年、1984年）。また40年連続で全国100位以内に登場した。この時期の幸之助は「億万長者」であり、一生で約5,000億円の資産を築いたと推定される。

1951年、テレビ事業視察のため長期外遊し、翌1952年に蘭フィリップスと技術導入提携（後に松下電子工業として分社化、1997年4月松下電器に統合）。

1954年には戦前からの宿願だったレコード事業参入のため、当時の資本金相当額を投入して日本ビクターを子会社化したが、経営上の独立性を保証した[注2]。

1957年には自ら巡回しての自社製品販売要請に応じた小売店を自社系列電器店網へ組み込み、日本初の系列電器店ネットワークとなる「ナショナルショップ（現：パナソニックショップ）」を誕生させた。以後、自社製品の地道な拡販交渉を続ける幸之助の姿勢に共感した系列電器店が「ナショナルショップ」網へ次々新規参入。こうした「松下幸之助に対する小売店スタッフの強い忠誠心」がナショナルショップを（ピーク時に約2万7千店を誇る）国内最大の系列電器店ネットワークへと成長させる原動力となった。

1960年に初の和歌山市名誉市民に選定される。同年、浅草寺（東京都台東区）の雷門と大提灯は、100年近く仮設状態のままになっていたところ、幸之助が私財を寄進して現在の形に再建された。提灯の「雷門」の下加輪には「松下電器産業株式会社 松下幸之助」と金文字で大きく刻んだ一際目立つプレートが貼られている。

会長就任後

1961年に会長に就任し、第一線を退くが、ヒット商品欠如が岩戸景気後の反動不況と相俟って赤字に転落する。当時ソ連の副首相であったミコヤンと食事を共にした際、「自分は工場で家庭電気器具をすることで、婦人解放をした」というと、感心したミコヤンは握手を求めたという。

1964年には門真市で初の名誉市民に推挙される。また、家電品の廉売を巡り、当時のダイエー社長・中内功と30年にわたるダイエー・松下戦争が勃発した。社内外の引き締め目的で熱海ニューフジヤホテルを借り切り、全国の販社・代理店と直談判する機会を設けたものの、新興スーパーマーケットとの競合による売行不振、熾烈な販売ノルマや販促グッズの押し付け、欠陥テレビの修理費負担などが問題化して紛糾し、丸3日間にわたって逆に吊し上げられた（全国販売会社代理店社長懇談会、いわゆる「熱海会談」）。このため「共存共栄」と自筆した色紙を配布して沈静化を図る一方、営業本部長代行を兼務し、トップセールスとしての現場復帰を余儀なくされた。

1965年の第16回NHK紅白歌合戦に審査員として出場した。

1967年7月、ダイエーなどの安売り店への出荷停止や締め付けなどに関して、公正取引委員会は松下電工を立ち入り検査し、独占禁止法第十九条に抵触する「不公正な取引方法」として排除勧告を受けた。これを拒否したため消費者から批判を浴びた。

1970年にはナショナルショップの後継者育成目的で松下電器商学院（現：松下幸之助商学院）を設立する。後に中村邦夫が立ち上げる「スーパープロショップ（現：スーパーパナソニックショップ）」の母体となった[注4]。

同年、日本万国博覧会（大阪万博）に松下電器館を出展する。「5000年後に開封する」として話題になったタイムカプセルには、全国の小中学生の手紙や当時の物品を納めて、博覧会終了後に大阪城公園に埋蔵された[注5]。酷暑にもかかわらず、入場2時間待ちで並ぶ一般客の行列に日陰がないことに気付き、「松下館」と大書した紙製の帽子を配布するよう担当者に指示した。これが会場外でも宣伝になって、松下館はさらに人気を呼んだ。またタイムカプセルのミニチュアをカラーテレビの景品として頒布し、販売強化に繋げた。

1971年、慶應義塾大学工学部へ多額の寄付を行い、松下記念図書館が竣工された。

晩年

1973年、80歳を機に現役を引退し、相談役に退いた。1974年には奈良県明日香村の名誉村民となる。1974年から1983年まで中野種一郎の後任として伊勢神宮崇敬会第3代会長を務め、後に松下正幸も第8代会長を務めた[4]。1979年、私財70億円を投じて財団法人松下政経塾を設立し、政界に貢献しようとした。

1989年4月27日午前10時6分に気管支肺炎のため、守口市の松下記念病院において死去した、94歳没[1]。法名は光雲院釋眞幸。死亡時遺産総額は約2450億円で、日本で最高とされている。

栄典・栄誉

位階勲等 - 正三位勲一等旭日桐花大綬章（それ以前に、勲一等瑞宝章、紺綬褒章、藍綬褒章）。

爵位 - マレーシアタン・スリ（伯爵相当）。

その他、オランダ経済提携親善功績章受章、中国改革友誼獎章。

創設に関わった賞としては「日本国際賞」など。

称号 - 和歌山市名誉市民（1960年）、門真市（初）名誉市民（1964年）、明日香村名誉村民（1974年）、早稲田大学名誉博士（Doctor of Laws）、同志社大学名誉学位。

エピソード

1. 下ゴタ自動車中興の祖・石田退三を師と仰ぎ、尊敬していた。

2. 創業地の大阪市大開に思い入れがあり、本籍を大阪市大開から動かさなかった。

3. コンピュータについて、1960年の暮れに米IBMと特許使用許諾契約を結んだ日本側15社のうちの一家に松下電器産業が含まれ、日本電子計算機にも参加するなど、初期参入企業の一社であったが（実機「MADIC」の研究開発製造は松下通信工業（現パナソニック モバイルコミュニケーションズ））、1964年10月に撤退を表明し

た。この件について、同年の減収減益で、コンピュータの研究への資本投入に販社からの不満が渦巻いていたとする文献もある。幸之助がこの時「コンピュータとは何をするものか」という問いを発し、それに対して幸之助の満足するような答えが得られなかったために撤退を決断したという話がある。これを失策とみるか、英断とみるかは意見が分かれる（たとえばシャープも、コンピュータは基礎研究のみに止めている。シャープの場合、応用という電卓に転じて成功した）。

4. 1965年に古希（70歳）を迎えた後、グループの総帥になると、ある従業員に「どうやってこのように大きな成功を収めることができたのですか」と尋ねられた。それに対して松下は「私は天からの3つの恵みを受けて生まれた。家が貧しかったこと、体が弱かったこと、小学校までしか進学出来なかったこと。」と答えている。
5. 米『タイム』誌国際版の表紙を飾った2人目の日本人実業家である（1人目は戦前に登場した日本郵船の各務鎌吉）。
6. 終生紀州弁で通じた。晩年は声量が落ち、筆頭秘書が通訳を務めた。
7. 朝型人間で、朝6時くらいにあちこちに電話をして打ち合わせをすることも多かった。社内だけではなく、社外の人にも早朝に電話をして驚かれたこともあるという。
8. 郷里の和歌山市に、友人達から贈られた「松下幸之助君生誕の地」の石碑（同郷である湯川秀樹の揮毫）と、幸之助がポケットマネーで寄付した和歌山市立松下体育館や、和歌山城西之丸庭園（紅葉溪庭園）内の茶室「紅松庵」がある。
9. 東京ディズニーシーのインディ・ジョーンズ・アドベンチャーのキューライン（queue - 並ぶ列）に展示中の、インディ博士の作業卓上の新聞には、幸之助の顔写真が載っている。これはパナソニックが同アトラクションのスポンサーであるためである。
- 10 大阪府門真市に所在するパナソニックミュージアム内に、松下幸之助の銅像「松下幸之助翁寿像」が建立されているが、この像は労働組合に理解を示していた幸之助に感謝する形で、松下電器労組が贈呈したものである。
- 11 辯天宗の信者であった。「松下電器産業株式会社」の敷地の中に、下天龍王社という祠（ほくら）が鎮座している。国道1号に面した、守口市の「本社」の方ではなく、国道を挟んでその南側にある「松下電子部品」（現社名＝パナソニックエレクトロニクスデバイス株式会社）の方である。
- 12 晩年、雑誌の取材で「何かひとつ夢を叶えるとしたら何を望みますか？」と質問されたところ「今の全財産を渡すからもう一度二十歳に戻して欲しい。それが出来たら私はもう一度今と同じだけの財産を築いてみせる。」と答えたという。
- 13 文部科学省の中学校向け道德教育用教材『私たちの道德』の「礼儀の意義を理解し適切な言動を」という学習指導要領の項目の中で人物コラムとして取り上げられた。
- 14 日本の戦後教育について、「道德を高めると、人間性だけでなく日本の国際的な評価を高め、さらに実利実益にも結びつく」と述べており、道德・徳育を重視すべきと考え、教育におけるそれらの欠如が青少年の乱れに繋がっていると憂いていた。
- 15 昭和40年代の初めに、業務用の大型炊飯器の試作品が完成し、技術者たちが本社の重役会議に臨んだ。操作や水洗いも簡単になった画期的な新製品だったが、重役陣の反応はいま一つ。やがて昼になり、弁当が配られた。そこには試作品で炊いたご飯が用意された。幸之助だけが「この炊飯器のご飯、おいしいな」とおかわりをした。食が細いはずの幸之助だったが、その一言は、技術者たちにとって、たまらなくうれしいものだったという。
- 16 前日に市販された新製品の評判を、社の幹部に尋ねた際、「一週間ほどしたら評判がわかるでしょう」との答だった。すると幸之助は「あかん！きのう発売されて、なんで今日わからんのや。商品について回れ」と叱責した。さらに「販売店を訪ね、売る人の立場から意見を聞いてみるのが本当や」「悠長に、一週間も市場の反応を待っているのは商売にならん」と続けた。
- 17 幸之助が社員の一人に「幽霊は、なぜ怖いかわかるか」と聞いたことがある。社員が「足がないからです」と答えると、「そうや。足がないということは、それが何者やら実体がわからないから怖いのか。経営でも、実体が見えないと怖い。何が起きるかわからないから」と応じた。幸之助は「見えないものを見えるようにするのが経営だ」とした。そのためには「自分でわかるまで考えよ」「現場に出よ」と勧めたという。[17]
- 18 自分は失敗をしたことがないと断言をしている。その自信は「意の如く、事が運ばないことを失敗というのなら、それは今までにずいぶんあった。しかし、私はいつも禍転じて福とするようにしているので、その意味では失敗をしたことはない」とのこと。また「失敗した所で止めるから失敗になる。成功するところまで続ければ成功になる。」という発言は有名である。

松下幸之助翁のロータリアンとしての言葉

「社会正義と言いますと非常に茫漠としておりますけども、この道に誤りはないか、社会道德に反していないか、また業界のためになるか、ということを考え、その道に沿って、この数字が出るかということです。

それが、業界がどうなるかが、社会がどうなるかが、この数字さえあればいいんだと遮二無二（しゃにむに）進むということであれば、私はむしろ何もやらないほうがいいと思います。そんなことをして会社が繁栄しても何が得られるか。われわれ人間としての目的に反すると思うんです。」

真実か どうか、みんなに公平か・・・そして
シェルドンの奉仕の理念はこれらをすべて含んでいます。